

# れんごう

ISHINOMAKI

2023年3月 [No.0007]

発行所 連合宮城石巻地域協議会  
〒986-0832 石巻市泉町2丁目5-26  
TEL0225-93-0500 FAX0225-93-6112  
発行人 加藤 雅基  
編集 高瀬智章・猪股茉生

## 『くらしをまもり 未来をつくる』



連合宮城石巻地協は2月18日(土)石巻グランドホテルにて「2023春季生活闘争討論集会」を開催した。石巻地域の労働組合の代表者41名が集まり、冒頭 加藤議長より石巻地域全体で賃上げに向けた機運づくりと安心した社会の実現に向けて今春闘を闘い抜こうとご挨拶を頂き、連合宮城 阿部副事務局長より連合宮城春季生活闘争方針についてご提起を頂きました。集会前段には石巻地協としてジエnder平等・女子活躍推進に今期より力を入れる目的で、湊水産(株) 木村様を講師に「妊娠・出産しても女性が活躍し働ける職場環境づくり」として会社の取り組みなどについてご講演を頂き、続いて石巻地域の子育て支援を活動している。NPO法人ベビースマイル石巻 荒木様より子育て支援の取り組みについてご講演を頂き、参加者全員で学習し今後の取り組みについて情報を共有させて頂きました。

今春闘は石巻地域においては中小企業も多く、厳しい交渉にはなるが参加者全員で最後まで粘り強く交渉する事を本集会で確認し、今春闘において労働組合の有る無しに関わらず、連合の影響が石巻地域全体に波及できる春闘にして行きたいと考えて、最後に今春闘を団結し闘い抜くことを全員で誓い合いました。







JP労組南三陸支部  
書記次長 星 崇紀



石巻合板工業労働組合  
執行委員長 及川 浩光

UAゼンセンは多種多様な業界からなる労働組合の集合体であり、これまで業界の垣根を超えた同一賃金・同一闘争を進め、UAゼンセンの賃上げに対する考え方として、「最低でも実質賃金の維持・その上で賃金の引き上げが必要と考え」賃金体系維持分2%に加え、格差是正分として2%を基準とした、合わせて4%を要求基準とし、物価上昇で目減りした実質賃金の回復・改善を目指してきました。しかしながら2022年4月以降、ウクライナ情勢の悪化や、円安の加速により、エネルギーや食料品を中心に消費者物価は大きく上昇し、実質賃金は大きく減少している状況にあります。こうした現実

を重く受け止め、UAゼンセンとして2023春闘方針は賃金体系維持分4%に加えて4%、合計6%の賃金引き上げを基本とし、産業・業種ごとのおかれた環境に応じた方針のもと春季生活闘争に取り組みます。石巻合板工業労働組合の、今年度、春闘の取組みは、これまでUAゼンセンの方針まで達していませんが、合板業界・石巻の地域性・会社との関係性を考慮し、震災以降、安定した昇給が必要と考え要求内容を決定し、昨年は、定期昇給分・ベースアップ合わせて3%の要求を行い組合の考えを十分理解した回答を頂きました。しかしながら、今年の賃金引き上げ要求につい

ては、家計に直接影響する消費者物価も上昇し、物価上昇を補ってんする賃金の上昇がなければ家計の消費水準を維持する事は難しい状況にあり、今後の組合員の生活を守り高める観点から、生活水準の維持向上を図り、今後の仕事に対する意欲・活力につなげる賃金引き上げを目指してUAゼンセン方針に沿った要求内容にしなければならぬと考えます。最後になりますが、大転換期到来の今、この春闘をきっかけに、我々の生活基盤の立て直し・労働条件改善により、ワークライフバランスを確立し、心豊かに仕事が出来る環境になる様、ここにお集まりの皆さんと共に頑張っていきたいと思っております。



宮城交通労働組合石巻支部  
支部長 三條 幸治

私のワークライフバランスは家族に美味しい料理振舞うことです。私は宮城交通石巻営業所に勤務し、石巻地域の路線バスや石巻・仙台間の高速バスを運転しています。仕事は運行時間通りにお客様を安全にかつ快適に目的地まで届けることが出来るかを自分の業務信条に掲げ、これまで乗務してきました。仕事は常に時間を気にしながらの業務で大変気を使いますが、仕事が終わりに家に帰ってきたときに私の趣味が始まります。平日は家内とどちらか早く帰ってきた方が食事の担当で、買い物も済ませ、冷蔵庫の中身を確認しながら食事の準備に取り掛かります。休日に息子が帰ってくるときにはクッキングパパとなり、腕によりを込めて本格的に料理に取り掛かります。仕事も多忙ですが、料理に集中する時間や作ったものを「美味しい！」と言って頂けることで仕事の疲れが吹き飛びます。このことが私のワークライフバランスを支える事であり生きがいにもなっています。

今期のJP纏の取り組みについては、各支部の意見集約から各地本の発言をふまえ、2月9日「2023春季生活闘争方針」を確立し、2月15日「中央闘争本部」を設置しました。経済要求として、①正社員の定期昇給の完全実施 ②正社員基準内賃金平均90000円の引上げ ③正社員の一時金4.5か月 ④月給制契約社員月額90000円、時給制契約社員の時間給60円上げ。その財源をもって時給制契約社員一般職登用の拡大に要する改善分に充当 ⑤月給制契約社員、時給制契約社員の一時金係数を引上げ要求します。

次に夏季冬季休暇制度の見直し検討について、休暇数を減らす案と休暇を全て廃止する案について議論を継続していきます。私たちの南三陸支部は東松島市の宮戸郵便局から気仙沼市の小原木郵便局までの沿岸部の郵便局で構成されています。郵便局の規模の大小もありませんし、支部のエリアの広さからなかなか、みんなが集まってというのは難しいのですが、知らせる取り組みとして、朝ビラの配布や組合員掲示板の最新化で情報を周知、聴く取り組みとして、より多くの組合員に会って話を聴くために春季対話集会の実施、参加する取り組みとして、全組合員の家族も含め、また組合未加入者からも春闘署名、各集会で集まった際には「23

くらしをまわり 未来をつくる

春闘アピールボードアクション」として集合写真、そしてより多くの仲間をつくり、仲間をつなぎ、仲間をまもる組織拡大行動を実施していきます。本部交渉を全力でバックアップするため以上の取り組みを実施していきます。共に頑張りましょう！

WORK LIFE



私生活の充実感、料理の楽しさ、家族との時間、これらは私のワークライフバランスを支える事であり生きがいにもなっています。